作成:2009/3/27

ねこねこカポタストのギター講座（旅立ち編）

文 → マッキィ
挿絵と写真撮影 → ちえも

はじめに

本書はソロギターに初めてふれる方のために製作した解説書です。とは言っても、プロでもなんでもないただの素人が作った代物なので、内容に関しては不十分な点もあるかもしれません。ただ皆様のすばらしい音楽人生をほんの少しでもお手伝いできれば幸いです。

もくじ

１．「ソロギター」とは.....2

２．「アコギ」と「クラッシックギター」って違うの？.....2

３．カポタストについて.....3

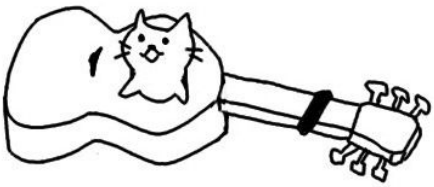
４．変則チューニングについて.....3

５．右手について.....4

６．演奏上注意すること.....5

おわりに.....6

おすすめの教本とか.....6



１．「ソロギター」とは

本書での「ソロギター」とは1人の奏者がアコースティックギター1本でメロディーと伴奏を同時に弾くスタイルを言います。ギターさえあれば、どこだろうと楽しめるのが利点の一つだと思います。ただし聴いている方からすると、ギター1本だろうが1人で弾いてようがあんまり関係ないので、自己満足みたいもの、なのかなぁ… 個人的にはギター1本だからこそ表現出来ることがあると信じています。というか表現したいです。

何百年も前からある演奏スタイルですが、近年では「ギターを叩く」といった、音色・パフォーマンスの両面で革命的なテクニックがどんどん生み出されています。日本では押尾コータローさんが代表的なギタリストです。

（You Tube 等でその演奏を是非見てみてください。あんまりにもスゴすぎて若干やる気がそがれますが…）

２．「アコギ」と「クラッシックギター」って違うの？

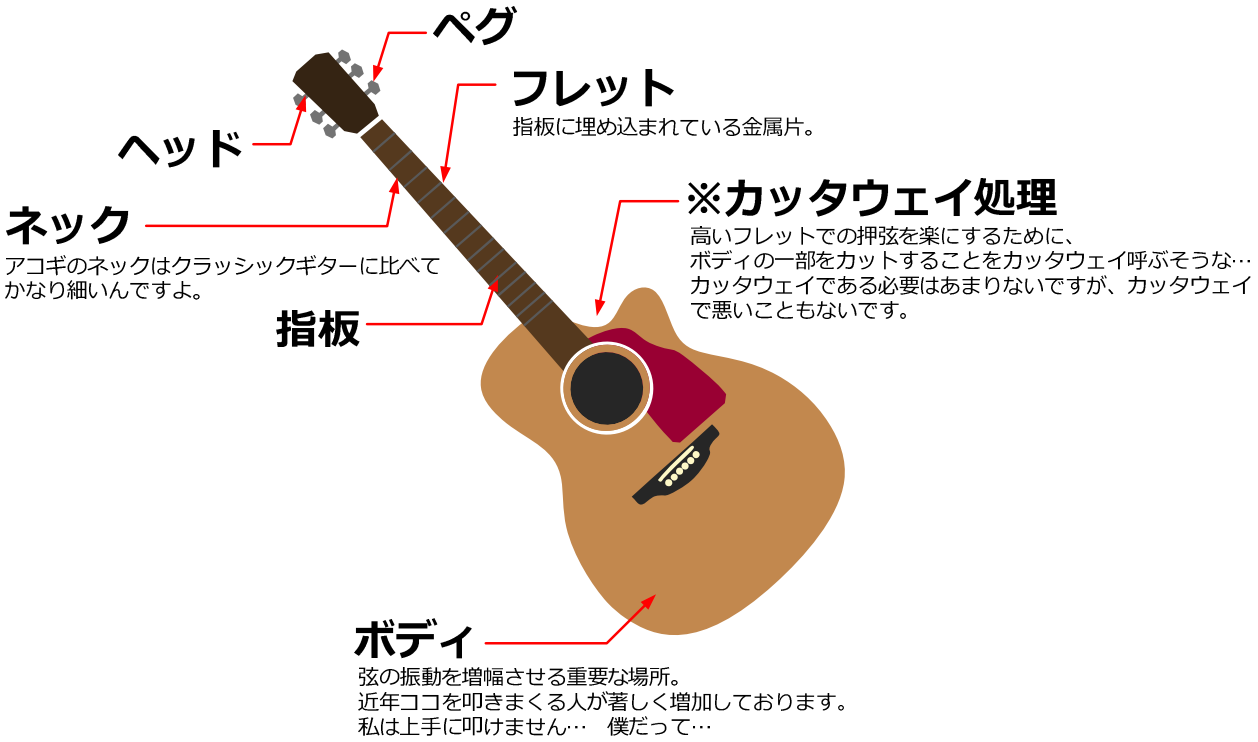
アコギとはアコースティックギターの事を指すので広義の意味ではクラッシックギターもアコギの一種です。でも最近ではスチール弦を張ったギターのこと（ちょっと古い言い方だとフォークギター）のことをアコギと呼ぶことが多いと思います。本書でもスチール弦を張ったギターの事をアコギと呼びたいと思います。

まず両者はその「音色」が大きく違います。（偉そうに言う事じゃないですよね） 同じ曲でもアコギで弾くときらびやかで明るい感じなのに対して、クラッシクギターで弾くと音色がまろやかで若干暗い感じになります。またクラッシックギターは基本的にソロギターでの奏法を前提として作られている節があるので、弦と弦の間が広く指板の幅が広いです。（その代わりネックを握り込むような動作が出来ません←私的にはかなり重要な違いだと思います）

「ソロギターをするにはどっちが良いの？」 と言われると難しいですが、最終的には目標とするギタリストのスタイルに合わせるのが良いかと思います。弾きやすいフレーズ、押さえやすいポジション等がギターの種類によって異なることが大きな理由です。

ちなみに私は「アコギ」です。そのためクラッシクギターの方には弾きにくい曲もあるかも知れないです。（私自身、クラッシクギターを持ってないので確かめてはいないのですが…）

アコースティックギター　各部の名称

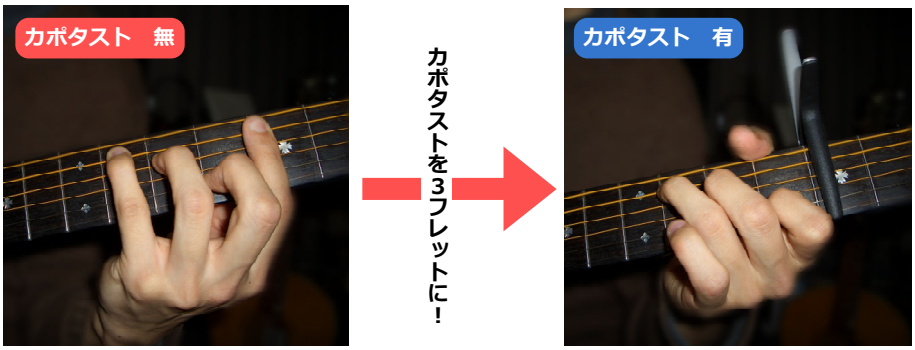


3．カポタストについて

カポタストとはギターのネックにはめて、開放弦のキーを上げる道具です。つまりカポを付けると、同じ弾き方でも楽曲のキーを上げることが出来ます。カポは基本的に曲の雰囲気を変えるためや、押さえ方を楽にするために使用します。たとえば Eb というコードはカポ無しではかなり押さえるのが難しいですが、カポを3フレットにはめてやれば、C というコードの押さえ方で Eb の音を出せます。

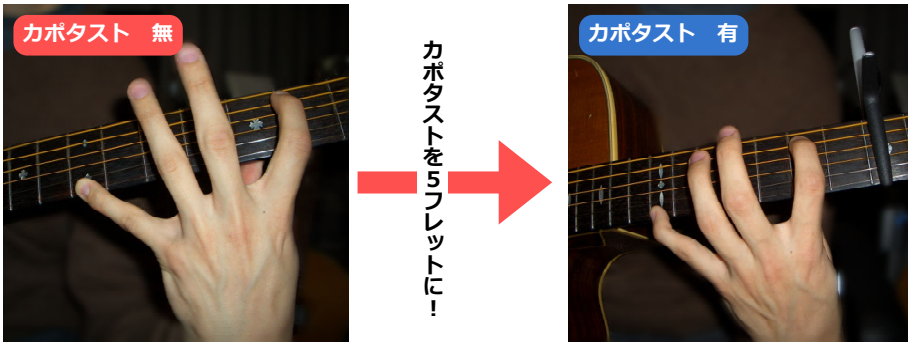
またギターは高いフレットにいくほどフレット幅が狭くなります。そのため左手を大きく伸張させ押さえる場合には、カポを高いフレットにはめることで左手がかなり楽になります。ちなみに我がサークルの名前の由来となっています。←これ重要(*^3^)

<Ebのコード>



ものすごく手がつらい…　　らくらく押さえられる！

<指をストレッチさせる押さえ方>
（人差指=5弦2フレット、小指=1弦7フレットの場合



これは厳しい…　　なんとかOK！

4．変則チューニングについて

ギターの各弦には基本の音というのがあります。この音に合わせて調整するのが「スタンダード」や「レギュラー」と呼ばれる基本的なチューニングです。アコギを使った大抵のスタイルではこのチューニングで事足りますが、ソロギターでは「変則チューニング」や「オープンチューニング」と呼ばれるものを使用することがあります。アコギでのソロギターのプロの方は変則チューニングを多用する方が多いようです。前述の押尾コータローさんは、スタンダードチューニングの曲の方が少ないくらいです。

変則チューニングの利点は【押さえ方が楽になること】と、【開放弦の豊かな響きを積極的に使えるようになること】です。後者はちょっと難しいかも知れないですが、覚えておくとなんだか通な感じがします。とはいえ難しいことは考えずに、弾きたい曲に合わせて単純にチューニングを変えるのが一番。ただ、チューニングを変えるのはめちゃくちゃ面倒です。（例えば1つの弦をゆるめると、その他の弦の音が若干上がります。結果としてすべての弦でチューニングをし直さなければなりません） そんな面倒なチューニングも「チューナー」を使うと劇的に楽になるので、ぜひ利用してみて下さい。

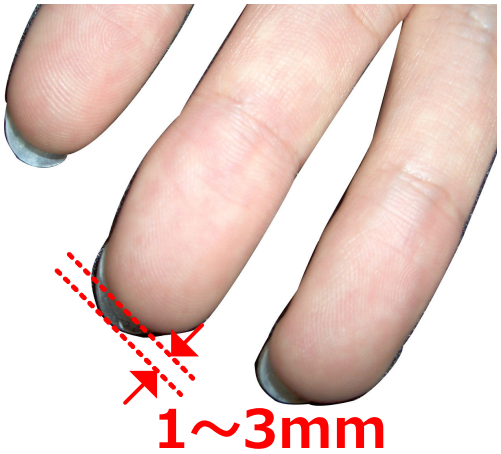
本サイトに UP されている曲では「ひだまり」「wingless」以外全て、変則チューニングとなっています。 ギターをはじめたばかりの方には若干ハードル高めな感じですが、ぜひやってみましょう。（そういう私も変則チューニングを初めて一年経ったか経ってないくらいなので、実際のところよく分かっていません。もっと頑張らなくちゃ…）

ギターのヘッドに取り付けられるタイプが便利！
（ギターのボディの振動から音の高さを測定するそうな）

5．右手について

伴奏とメロディーを同時に弾くというスタイル上、ソロギターではピックではなく自身の指を使って弦を弾きます。（これを指引き、フィンガーピッキングとか呼んだりしますね） 基本的には薬指が１弦、中指が2弦、人差し指が3弦、親指が4～6弦を担当します。ただしメロディーが低い場合は人差し指で4弦を弾いたりもします。厳密な決まりではないのですが、このようにポジションを決めておくと弾く弦を間違えることが少なくなります。

指のポジションを決めておくと弾き間違えが減ります。
そっと弦の上に載せると、ミュート（消音）の効果もあります。



あんまり伸ばし過ぎると日常生活に支障がでるかも…
野郎のくせに爪が長いとなんか目立ちます(+o+)

爪の長さも重要なポイントです。爪を使わずに指先だけで弾くと、アコギ特有のきらびやかな高い音が半減します。また音がぼやけるのでメロディーラインが浮き立たなくなります。（ちょっとネガティブな書き方になってしまいましたが、逆に爪が無ければ音がまろやかになるということです。）

爪の長さは手のひら側から指先を見たときに爪が 1～3mm 程度出ている感じですかね。あんまり長すぎると弦に引っかかりやすくなるので注意が必要です。また爪を長くすると爪が破損しやすくなるため、爪をコーティングすることをおすすめします。自爪の上にアクリル樹脂を直接塗る「スカルプチュア」が一般的なコーティング方法です。「スカルプチュア」のキットは女性用のネイルグッズコーナーなどに行けば購入できると思います。またスカルプチュアよりも割高となりますが「グラスネイル」というコーティング方法もあります。

表に各コーティング材の作業性などの比較を示します。フィンガーピッキングに慣れないうちに気にする必要はないと思いますが、『爪がすぐ破損して思ったような長さにそろえられない』といった場合に爪のコーティングをしてみてはいかがでしょうか。コーティングすることによって爪の厚みが増すと、ギターの音色がよりハッキリとします。

表.コーティング剤比較

項目	マニキュア	スカルプチュア	グラスネイル
作業性	★★★	★	★★
持続性	★	★	★★★
強度	★	★★★	★★★
補修効果	★	★★★	★★★
見た目	★★★	★	★★★
コスト	★★★	★★	★
入手性	★★★	★★	★

※★が多いほど優れてる感じです

マニキュアは作業性に優れてはいますが、強度が低いので個人的には気休めかなぁと思っています。また強度が低いため、爪の割れ・欠けの補修には全く向いていません。スカルプチュアは強度的には問題無いのですが、作業中に使用する溶剤のにおいがものすごくきついです。冬でも戸を開けて作業しなくてはいけないのがつらいです。また出来上がりの見た目が悪く、かなり念入りにやすらないといけません。グラスネイルは臭いもなく、出来上がりも綺麗です。見た目が自然な爪に近いため、あんまり目立ちません。補修も容易にできます。唯一の難点は値段がすごく高いこと。まだ使い始めて3ヶ月程度なのでハッキリと言えませんが、おそらく年単位で2～3万はかかるんじゃないかなぁ… とりあえずグラスネイルが一番のおすすめです。高いですけどその分効果はありますよ。

6．演奏上注意すること

最後に演奏する上で全般的に注意した方が良いことを記述いたします。

① 力を入れて弦を押さないこと！

弦を押さえる指に力が入りすぎると、指のアクションが大きくなり押さえミスの原因になります。また素早いフレーズに対応出来なくなります。そしてなにより指の関節を痛めてしまいます。一度関節を痛めるとなかなか治らない… フレットよりに押さえることで、意外と力入れなくてもちゃんと押さえることができます。ちなみに上手い人ほど左手の指先が柔らかいそうです。（ええ、私の指先はカッチカチですよ、何か？）

② ギターを傾けて演奏しない

弦を押さえるとき、押さえる場所を見ないことには上手く押さえることは難しいです。つまり何らかの方法で指板を見てやる必要があるわけです。この時あまりギター本体を傾けてはダメです。というのも、ギター本体を傾けると連動して左手の肘の位置が下がるため、ポジション変更が難しくなる可能性があります。そのためギターの指板をのぞき込む感じで見ると良いと思います。ただしあんまりのぞき込み過ぎると、なんだか見た目がかっこわるくなるかも… 難しいところです。

③ ゆっくりから始める

慣れない間はポジションを一つ一つ確認しながらの演奏となると思います。その際、演奏スピードは原曲よりもかなり遅めで練習すると良いです。あんまり遅く弾くのも難しいですが、「曲のスピードを自在に変えることのできるソフトウェア」等を活用するとかなり助けになります。

おわりに

ねこねこカポタストのソロギター講座、いかがでしたか。なんだか具体的な事を何も書いてないような気がしますね、本当にすいません。 お詫びと言ってはなんですが、ソロギターをやる上での参考教本を最後に記載しておきます。「最初から本を紹介するだけで良かったのでは？」と突っ込んじゃだめですよ。

ギターをはじめて間もない方には結構ハードルの高いスタイルですが、1曲弾けるようになった時の感動たるや言葉では言い表せません。皆さんも是非一緒にがんばりましょう。

『そなたは絶対に上手くなるっ』（ぴかーん）

おすすめの教本とか

【ソロ・ギターのしらべ】 リットーミュージック/南澤大介

アコギでソロギターを始めるならばこの本は絶対に欠かせませんっ。色々とシリーズが出ていますので、自分の好きな曲がたくさん載っている本が良いと思います。個人的にはスタジオジブリ篇がおすすめかなぁ。とは言っても数曲しか弾けないんですけどね。

【オープン・チューニング ＆ フィンガー・ピッキング】 リットーミュージック/岸部眞明

こちらは教則 DVD となります。私の心のお師匠様である岸部さんが直接オープンチューニングを使用したご自身の曲について解説しています。この DVD でオープンチューニングを覚えました。（覚えたというか、存在を知ったというか…）

岸部さんのギターは本当に綺麗で、「音の強弱」や「タメ」、「盛り上がり」どれをとっても非常に参考になります。私の理想の音色です。 岸部さんの CD も是非聞いて頂きたいのですが、Ama〇on とかじゃ売ってない… なぜだー

【So HAPPY】 押尾コータロー/EMI ミュージック・ジャパン

これは押尾コータローさんの PV などを収録した映像作品なのですが、押尾さん本人による自身の曲のかなり丁寧な奏法解説も収録されています。なんだか凄すぎてあっけにとられますが、見てるだけでなんだか上手くなった気がします。（←これは気のせい） ツ〇ヤでレンタル出来る可能性大っ。

【You Tube】

えーっと、皆様ご存じの動画共有サイトです。『ソロギター』と打ち込めばきっとかなりのソロギター演奏が見れるのではと思います。世の中にはこんなにギターが上手い人がいるんだぁとただただ驚くばかり。凹むことも多いですが…なんだかんだいって非常に刺激も受けます。何より動画ってのは情報量が多いですからね。きっと上手な演奏をたくさん見ることは上達につながるはずです。そのうち YouTube にでも up したいなぁと思っていたりいなかったり。ただ私の演奏は非常に地味なので、いつかギターを叩きまくる派手なアレンジでも出来たときにでも。

【聞々ハヤえもん】 タロ/フリーソフト開発所

曲のピッチおよび速さがほぼ無段階で変更出来るフリーソフト。つまり練習や耳コピに最適です。というかこのソフトがなかったらおそらくギターアレンジは出来ませんでした。対応するサウンドのフォーマットも幅広いのが特徴です。作者様に感謝(*^_^*)

うみねこ同人サークル：**ねこねこカポタスト**

[web] http://nekocapo.web.fc2.com/

[mail] nekocapo@gmail.com